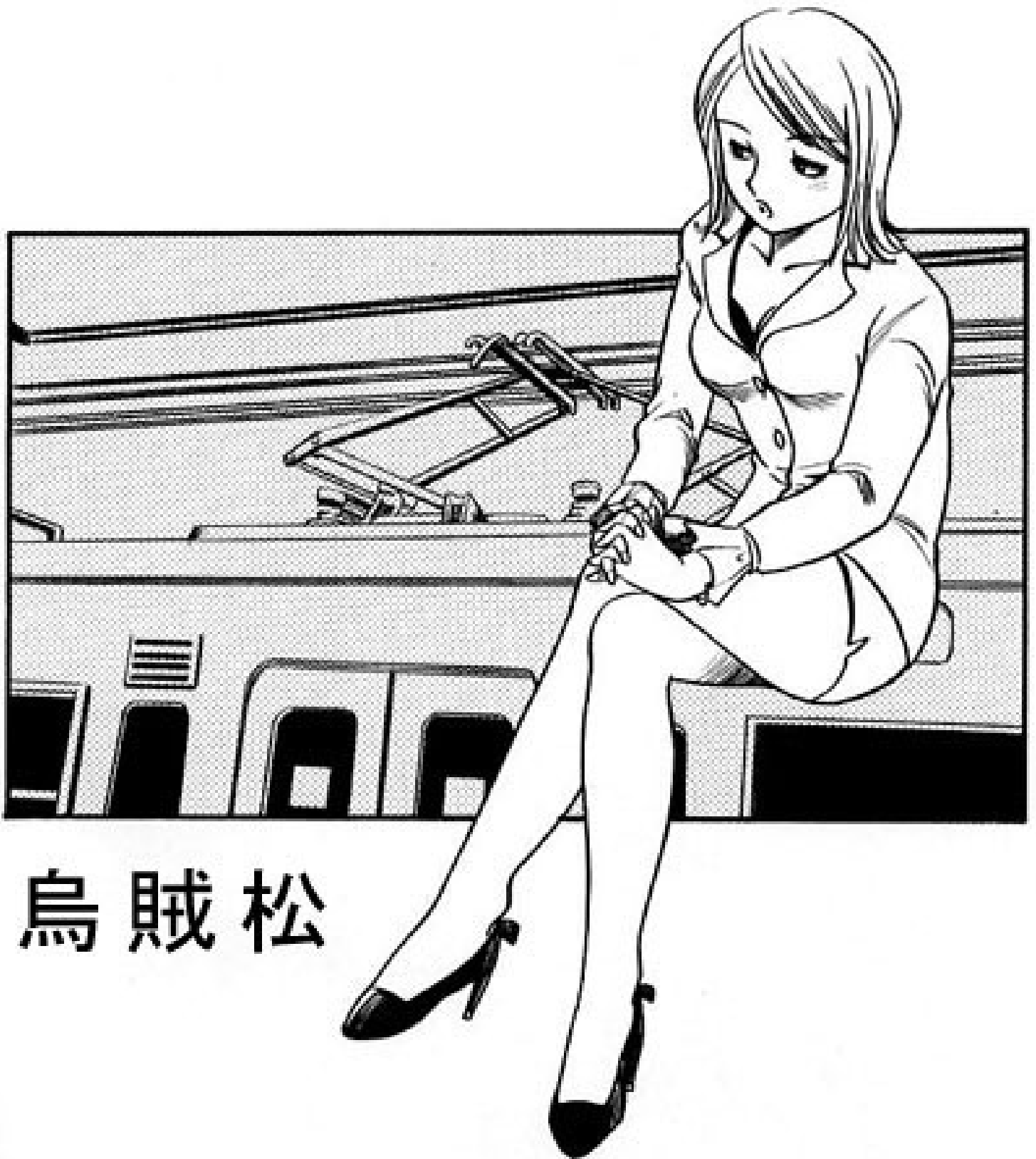


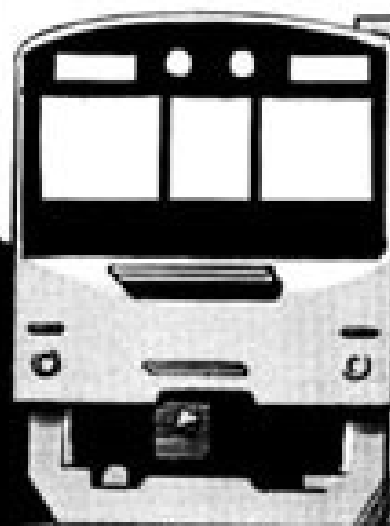
夜の各駅停車



松賊烏

残業で
帰りが遅くなった夜

いつもの俺なら
急行電車で
さっさと家に
帰るんだが



その日は
いつもにも増して
疲れていた

別にそれ以外の
理由が何か
あったわけじゃない



その日はホントに
ただなんとなく

だから
普段はめったに
乗らない各駅停車で
帰るコトにした



いつもとは違う
電車に
乗っただけ
だった...



俺は今まで
チカンなんか
したコトもないし

シチュエーションに
誘われたとしか
言いようのない
夜だった...

しようとして
思ったコトすら
なかったのに

も...
もうちびっ子で
見えそう
なんだけどな
.....

.....





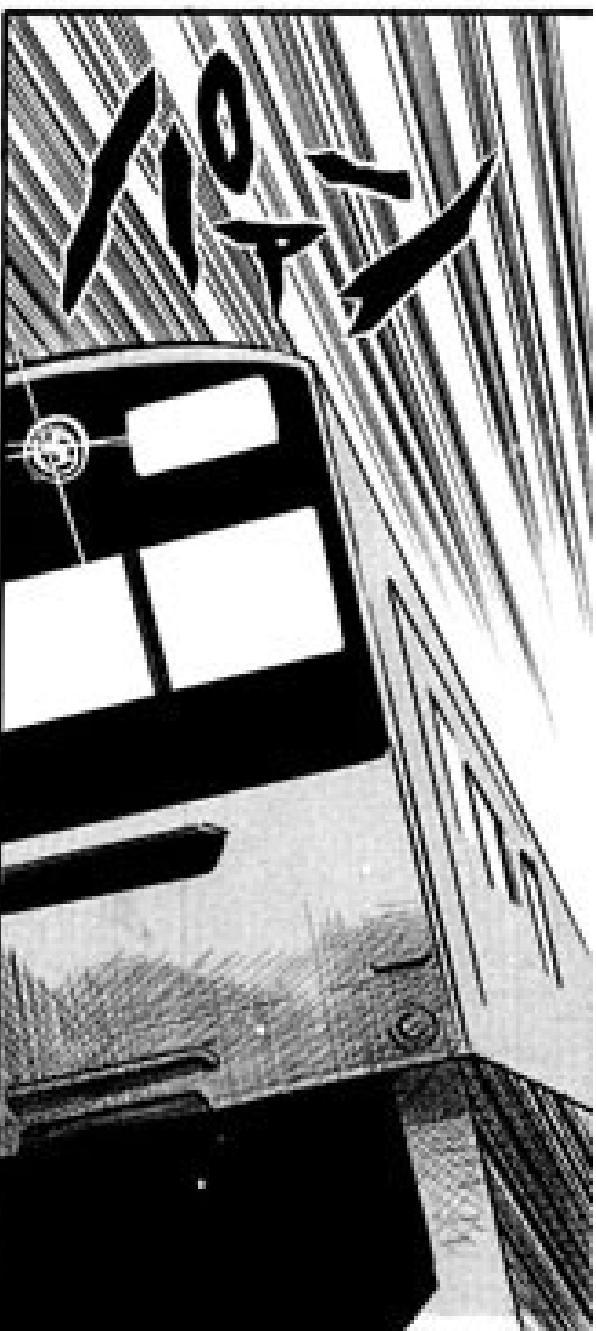
うわ…

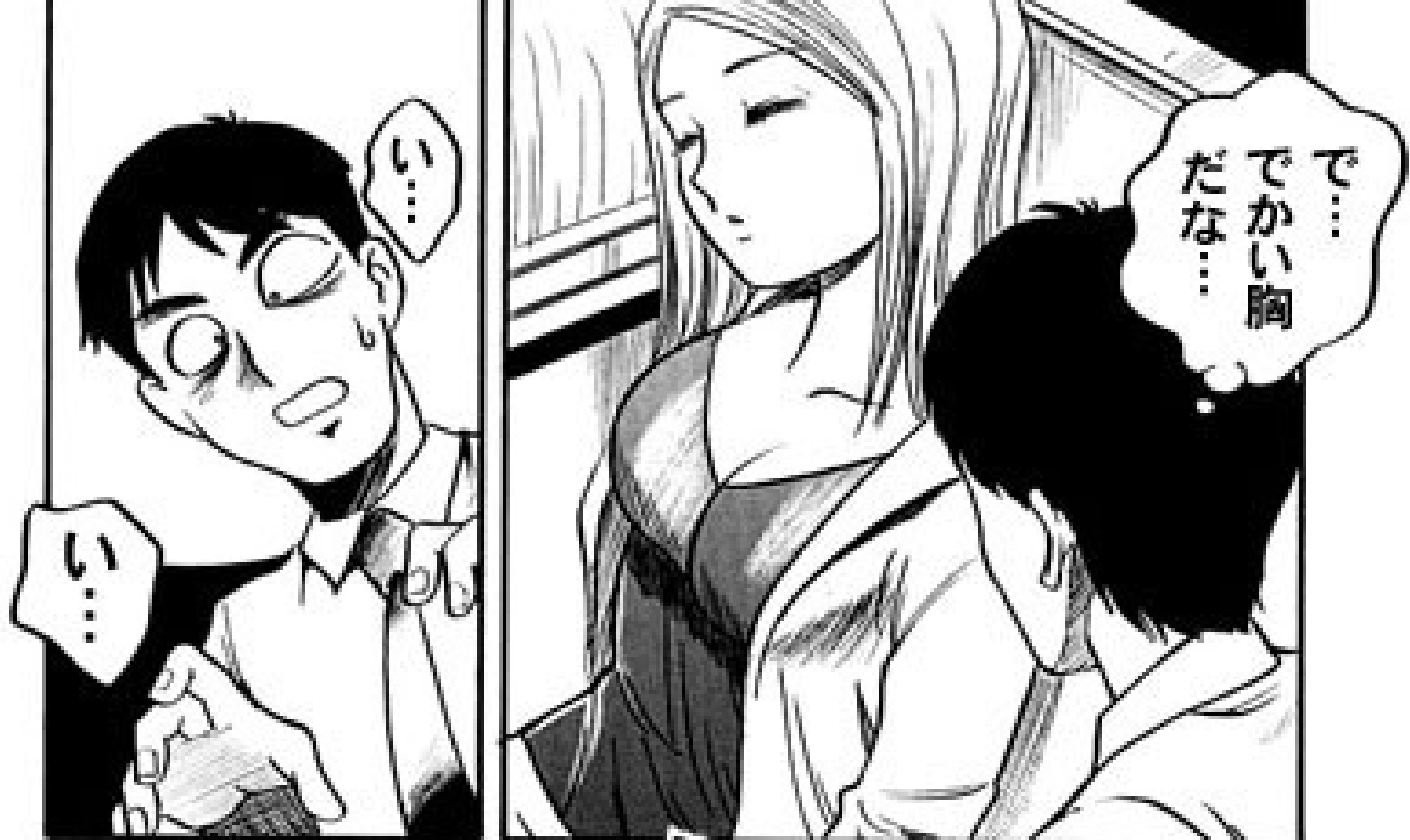
フカフカだ…

このままでも
悪くないけど

どうせなら

ナマ乳を…!!







そういえば
上もノーブラだし

なんなんだ
このオンナは？

しかも

ぬ、ゆ

めづきや
濡れてる

こんなオンナなら

目を覚ましても
騒いだりしない
だろ!!

ん...

夜――
人もまばらな
電車のボックス席で



下着を一切
身に着けて
いない女が
無防備に眠って
いる……



後で冷静に考えれば
そんな怪しい
シチュエーションには
二の足を踏みそうな
モノだが



なにしろ
そんなチャンスは
二度とあるかどうか
分からないのだ！



その時の俺は
後先なんか全く考えず
欲望丸出しで
目の前の女体に
むしゃぶりついてた





まもなく
〇ヶ谷
〇ヶ谷



くっそ〜
もう降りる
駅かよ…



これから
顔にぶっかけて
やろうと思って
たのに……

心残りだけど
仕方ないな

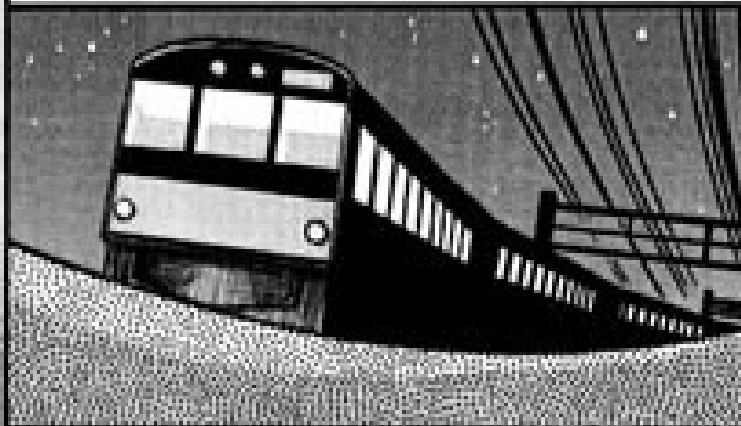
終電だから
乗り過ごす
ワケには
いかない…



うん



そして
心優しい俺は
終点までかけて
彼女の願いを
タップリ叶えてやった



やはり
彼女は初めから
寝たフリをして
チカンされるのを
待っていたらしい